HKS MUFFLER

Super HIGH PERFORMANCE EXHAUST TECHNOLOGY Turbo Muffler Ti

取扱説明書

＜製品番号 31029-AN007＞

E-BNR32

Super Turbo Muffler Ti

Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取説品番　E65400-N21A90-00
2020年9月25日発行
Ver.No.2-1.0A

お願い

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

★この取扱説明書は製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。
よくお読みになって、正しくお使いください。

★本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管してください。

もくじ

ページ

（１）ご使用の前に必ずお読みください －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 3～8
●製品の構成部品図 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 3
●装着可能自動車と製品仕様 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 4
（２）製品についてのご説明 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 9
●JASMA製品で困ったときの相談先 －－－－－－－－－－－－－－－－－－ 10
（３）使用方法 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 11
（４）組付方法 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ 12～14

はじめに確認してください。

★この製品は下記リストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合がある場合は、お買上げの販売店までご連絡ください。

★装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で排気もれや故障の原因になる場合がありますので注意してください。

★JASMA認定書と製品のJASMAプレートの確認もお忘れなく。
取付作業手順は 12 ～ 14 ページにそれぞれ記載してあります。

構成部品及び付属品リスト

□中間パイプ	1個
□メインマフラー	1個
□ガスケット（φ85）	1個
□ガスケット（φ80）	1個
□ボルト（M10 P=1.5 L=40）	2本
□ナット（M10 P=1.5）	2個
□プレーンワッシャ（M10　外径φ22）	4個
□スプリングワッシャ（M10）	4個
□ナット（M10 P=1.25）	2個
□小径プレーンワッシャ（M10 外径φ18）	2個
□ボルト（M8 P=1.25 L45）	1本
□ナット（M8 P1.25）	1個
□プレーンワッシャ（M8）	2個
□スプリングワッシャ（M8）	1個
□サーモシール（300×100）	1枚
□取扱説明書	1部
□JASMAマフラー登録認定書	1枚
□保証書	1枚
□ステッカー	1枚

最小限必要な工具

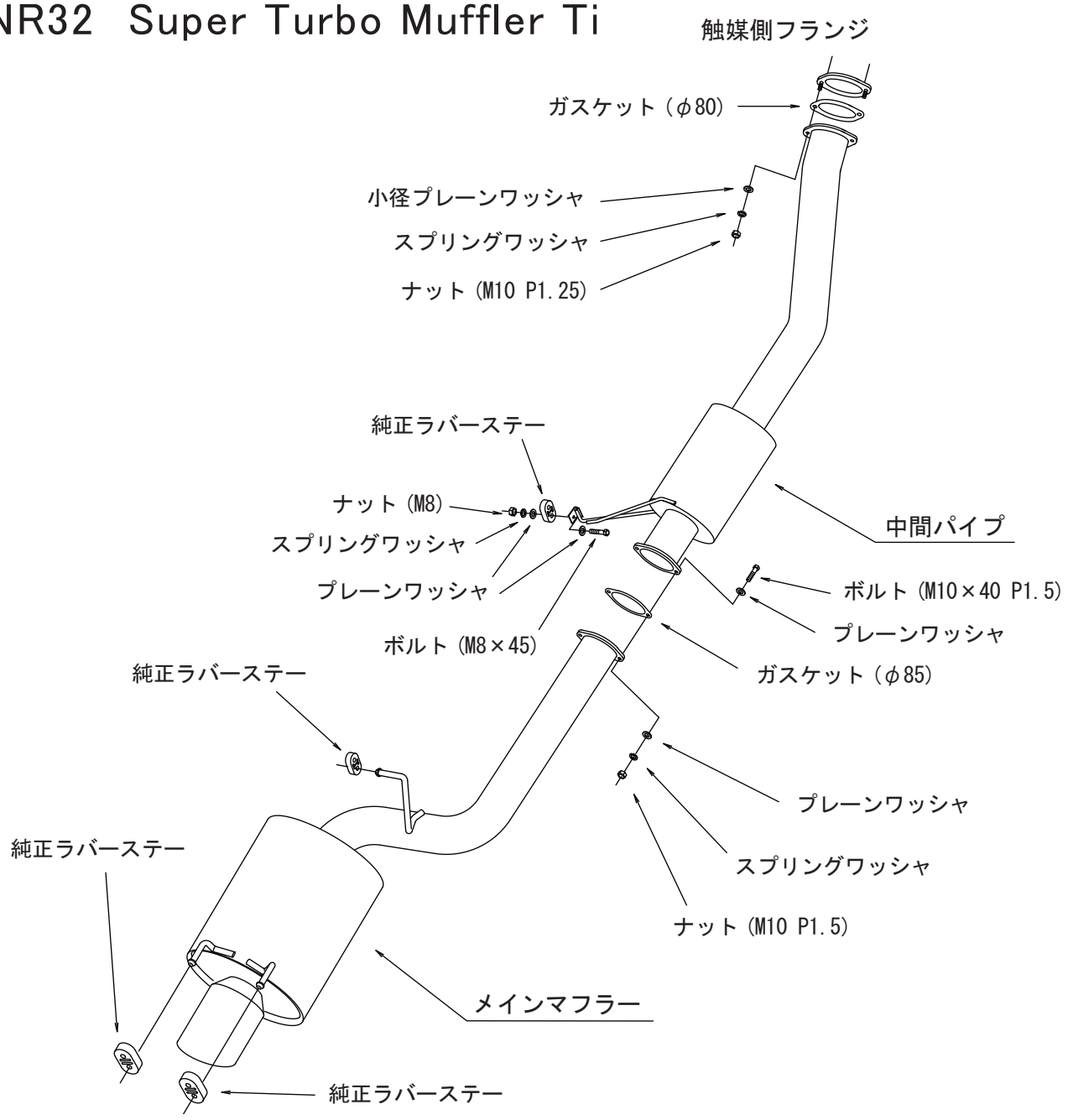
めがねレンチ 10mm	1本
めがねレンチ 12mm	2本
めがねレンチ 14mm	2本

(1)ご使用の前に必ずお読みください

必ずお読みください。

製品の構成部品図

BNR32　Super Turbo Muffler Ti



必ずお読みください。

装着可能自動車と製品仕様

□ 車　　両 : ニッサン　スカイラインGT-R

□ 車　両　型　式 : E-BNR32

□ 年　　式 : 1989/8 ～ 1994/12

□ エ ン ジ ン 型 式 : RB26DETT

□ 製　品　名　称 : Super Turbo Muffler Ti

□ 製　品　番　号 : 31029-AN007

□ ＪＡＳＭＡ認定番号 : 03S16884

□ 製品装着後の自動車の最低地上高 : ホイールベース間　約　115 mm
トレッド間　約　115 mm

●本製品は日本自動車スポーツマフラー事業部に認定され、製品本体には証明のためプレートが溶接され、認定書が添付されています。
購入したら最初に下記項目が一致することを確認してください。

★登録認定書に記載の車両型式　と　★装着する自動車の車検証に記載の車両型式
☆登録認定書に記載の表示番号　と　☆製品本体に溶接されたプレートの表示番号
★登録認定書に記載のエンジン型式　と　★装着するコーションプレートのエンジン型式

万一、相違がある場合は必ず装着前にお買上げの販売店までご連絡ください。
また、製品の加工、改造等を行うと保証の対象外となります。

「安全にご使用いただくために」必ずお読みください。

●弊社の「取扱説明書」には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

本書中のマーク説明（表示と図記号）

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。

⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。

お願い	この表示を無視して誤った取扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの内容を示します。

⚠警告	●自動車のマフラーの交換は本来、設備の整った自動車整備工場で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があって危険です。

一酸化炭素中毒防止

⚠警告	●エンジンをアイドリングしたまま、休憩や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険があります。 必ずエンジンを停止してください。
	●排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った車庫や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると、一酸化炭素中毒の危険があります。 必ずエンジンを停止してください。 風向きにも注意してください。
	●マフラーのテールパイプからは有毒な排気ガスが排出されます。停車または駐車中に車の後ろに人がいたり特に幼児やペットをおいてエンジンを動かし続けると一酸化炭素中毒の危険があります。 必ずエンジンを停止してください。 風向きにも注意してください。

触れると火傷

⚠警告	●エキゾーストマニホールド、触媒コンバーターは特に高温になっていて触ると大火傷のおそれがあります。
	●エンジンが動いている時あるいはエンジンを停止した後はエキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒、マフラーは高温になっています。特に後端のテールパイプの部分は自動車の外に露出していて触れやすいので、気をつけてください。 触ると火傷の危険があります。
	●お子様には特に注意してください。またトランクから荷物を出し入れするとき、衣服がテールパイプに触れると焦げたり溶けたりすることがあります。停車、駐車する際には周囲に気をつけてください。

⚠警告	●エキゾーストマニホールドなどにオイルやブレーキ液をこぼすと火災の恐れがあります。
	●弊社のマフラーを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。
	●自動車の排気関係の部品は正しい取扱いをしても、自動車の使用状況や排気ガスの有害成分で消音性能が劣化したり、製品が腐食して穴があくことがあります。このような場合は速やかに販売店や整備会社にご相談いただき、製品本来の性能が失われていた場合、弊社の製品に交換してください。腐食を放置すると排気ガスが車体の下部などにもれて火災の危険があると同時に、整備不良車運行で運転者が罰せられることがあります。
	●自動車の安全な整備はドライバーの法定責任です。定期点検整備は安全性と公害防止をはかる上で必要不可欠です。日常の点検はもとより定期点検や定期部品交換は、必ず実施してください。 JASMA登録認定書の提示をお忘れなく。
	●マフラー交換は自動車の床下作業が多いので持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると危険です。 必ず自動車作業専用リフトを使用して、安全に作業してください。 『2柱式リフト』をお薦めします。 やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は必ずリジットラック(うま、安全スタンド)を併用して安全に作業してください。 車載ジャッキでの作業は危険なので絶対にお止めください。
	●マフラー交換は離れた箇所を同時に締付ける作業や重いマフラーを下から支えている作業が多いので、1名で作業すると危険です。 2名以上で行ってください。
	●排気関係の部品は熱いので触ると火傷します。必ず、冷えてから作業してください。手の火傷を防ぐために作業用の手袋を着用してください。

⚠警告	●排気関係の部品は錆びてボルトやナットがゆるみにくいことがあります。 スプレー式等の浸透性潤滑油を使用し、適正な工具を使用して無理のない作業を行ってください。 特に手の怪我を防ぐために作業用の手袋を着用してください。

⚠注意	●弊社のマフラーは耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに製造されていますが、自動車の使用条件が悪いと早く腐食して穴があくことがあります。また、石等と接触し、破損して穴があくこともあります。いずれも排気ガスもれの原因となりますので十分に注意してください。
	●JASMA(日本自動車スポーツマフラー事業部)認定のマフラーは自動車メーカー純正の触媒を残して、その後の部分を交換する製品です。 触媒を外したり、触媒の内部加工を行うと違法であると同時に環境汚染につながります。絶対に行わないでください。
	●取外した純正マフラーを保管する場合は、マフラーは、出来るだけ短く分解して横置きで保管してください。長いまま立てかけて保管すると倒れて危険です。
	●自動車の排気部品は高温になります。枯れ草などの燃えやすいものの上にエンジンを動かしたまま、または停止直後に停車や駐車すると火災の危険があります。必ず自動車の下に燃えやすいものがないことを確認してから停車、駐車してください。

ご使用の前に必ずお読みください。

(2)製品についてのご説明

●この製品は、国土交通省令で定める道路運送車両の保安基準第30条(騒音防止装置)・第31条(ばい煙、悪臭のあるガス、有毒のあるガス等の発散防止装置)について4ページに挙げる車両に装着された際に、JASMA基準を満たす商品として日本自動車スポーツマフラー事業部の認定を受けた製品であり、ご使用に際して、改造申請等の事前手続きは一切必要ありません。

●しかし上記の車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合は、法令等で定められた試験を実施し、改造申請等の手続きが必要となる場合がありますので、詳細はその製品に備え付けの取扱説明書等をお読みください。

●この製品は、標準車における自動車製造メーカー純正部品との交換を対象としたものであり、その他の改造等を行った場合は、その適合性を満たすものではありません。

●この製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
- This product is designed for use in Japan only.
- It must not used in any other country.

●お客様ご本人または第三者の方が、この製品及び付属品の誤った使用やその使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

●この製品及び付属品は、改良のため予告なく変更することがあります。

●この製品は、改造自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請等の届け出をして検査合格後にご使用ください。但し、その場合、自動車が損傷することがありましても弊社は一切、その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●法令により、一部車種を除いて国土交通省令で指定を受けた触媒を外した自動車を運行することができません。

マフラーの概要

弊社のマフラーは理想的な排気効率、軽快な音質、優れた耐久性・消音性を確保した高音質なマフラーです。消音器内部の構造は車種、エンジン別に設定し優れたエンジンレスポンスを実現します。また、大口径マフラーにありがちな最低地上高の問題に関しても独自の設計構造により対処しています。

⚠警告	エキゾーストマニホールドやマフラーの交換は本来、設備の整った自動車整備工場等で、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。 専門外のお客様が作業すると怪我や火傷の可能性があり危険です。 装備作業は専門の整備工場等にご依頼ください。

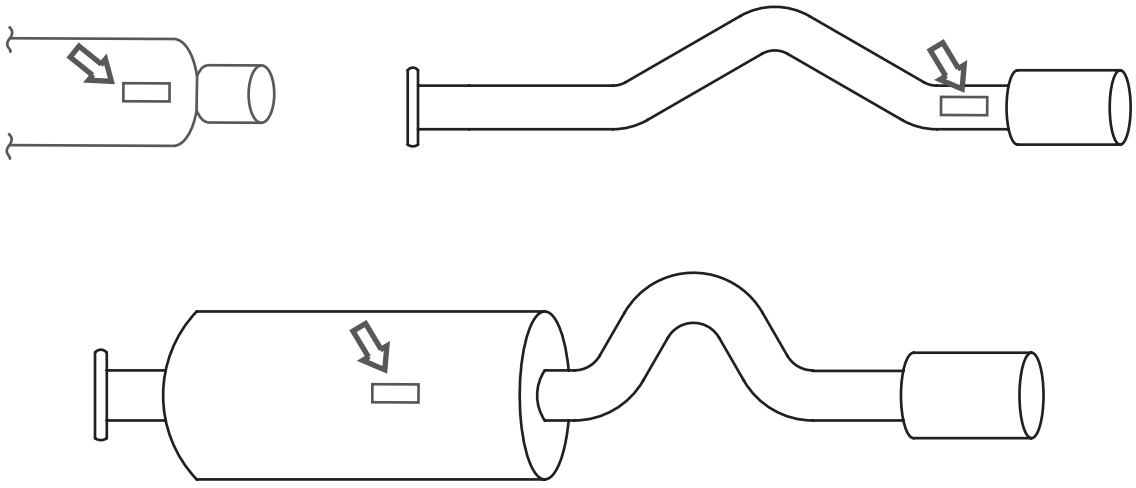
ご使用の前に必ずお読みください。

JASMA登録認定書について

●本製品は、JASMA登録認定書に記載された適応車種に正しく装着された場合は、ご使用に際して改造申請等の手続きは、一切必要ありません。

●JASMA認定プレートならびに構成部品の識別マークの表示位置は下図に示してあります。

JASMA認定プレート位置



メインシェル下側、又はパイプ下側等に取付けられています。

★製品に関してのお問い合わせは、お買上げの販売店にお願いいたします。

★JASMA認定品で困ったこと、わからないことは下記ダイヤルへ。
JASMAがあなたをお手伝いします。

JASMAユーザーズダイヤル　03-5487-1021
受付時間　10:00～17:00
（土・日・祭日・夏期休暇・年末休暇を除く）

ご使用の前に必ずお読みください。

(3)使用方法

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

●マフラーは正しい使用方法を守り、本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
●使用の際に、不必要な空ぶかしや長時間にわたるアイドリングはお止めください。消音能力低下や停滞した排気の熱害でエンジンルームの電装品等、補機部品が故障することがあります。

⚠警告	●弊社のマフラーを装着すると排気効率が改善され、自動車の性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。

●塩分や湿気の多い場所での保管や放置は避けてください。機能低下や腐食の原因になります。

●ジムカーナやサーキット走行等の特殊な用途の使用では製品の耐用期間が著しく低下しますのであらかじめご了承願います。

●不要になった自動車部品を破棄する場合は自動車整備工場や自動車部品解体業などの専門家にご相談ください。

(4)組付方法

⚠警告	作業中の 怪我・火傷	装着作業は専門の整備工場などにご依頼ください。

【(1)ご使用の前に】を十分に理解した上で、実施してください。

作業前に必ずお読みください。

お願い	●作業の前に自動車と製品の適合を車検証と本書、JASMA登録認定書、製品のJASMAプレートで必ずご確認ください。
	●純正マフラーの取外し作業は自動車メーカーの作業手順通り作業してください。
	●純正品と弊社製品作業手順が異なる場合があります。その場合は、本書に記載された作業手順をよく読んで、理解してから作業してください。
	●製品を装着前及び装着の際に、落としたり、強い衝撃を与えないでください。装着不良で排気ガス漏れや故障の原因になることがありますのでご注意ください。
	●フロントパイプ、エキゾーストマニホールド、触媒等を純正部品以外のものと交換している場合、弊社のマフラーとの組合せで、排気効率が著しく改善され、自動車の性能が向上し、場合によってはエンジン等の破損につながることがあります。事前に、販売店等にご相談の上で、正しくお使いください。

★作業者の方へお願い

⚠注意	●取外した純正マフラーを保管する場合は、マフラーはできるだけ短く分割して横置きで保管していただくよう、お客様にご指導願います。 長いまま立てかけて保管すると倒れて危険です。

お願い	作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にご返却ください。

★作業の際に必ず下記の点検をしてください。

●純正のマフラー吊り下げ用ラバーステーに割れ、ひびなどの劣化が生じていた場合、純正品の新品に交換してください。

HKS MUFFLER

組付作業手順

※装着作業は専門の整備工場などにご依頼ください。
※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味。

⚠警告	ラバーステーに潤滑剤等を塗付しないでください。 脱着時に潤滑剤等を使用した場合、確実に清掃を行い油脂分を取り除いてください。 油脂分が残っていた場合、走行中に外れるなど重大な事故の原因になります。

お願い	●ガスケットの再使用はしないでください。 ●吊り下げ用ラバーステーは全て純正品を再使用してください。

1.『メインマフラーの仮組付』
(1) メインマフラーを正規の位置に合わせて、吊り下げ用フック3ヶ所に純正ラバーステーをはめてください。

2.『中間パイプの仮組付』
(1) 中間パイプを正規の位置に合わせて、触媒後部フランジと中間パイプ前部フランジの間に付属のガスケット(φ80)を挟み、付属の小径プレーンワッシャ、スプリングワッシャ、ナット(M10 P1.25)の順で取付けて仮締付けしてください。また、後方のブラケットには付属のボルト(M8x45)にプレーンワッシャを入れマフラー側からブラケットに通し、反対側から純正のラバーステー、プレーンワッシャ、スプリングワッシャ、ナット(M8)の順で取付けて、仮締付けしてください。
(2) 中間パイプ後部フランジとメインマフラー前部フランジの間に付属のガスケット(φ85)をはめ、付属のボルト(M10×40 P1.5)にプレーンワッシャを入れ前側から通し、反対側から付属のプレーンワッシャ、スプリングワッシャ、ナットの順で取付けて仮締付けしてください。

3.『全体の本組付』
(1) 中間パイプ、メインマフラーの位置関係や自動車の床、クロスメンバ、その他の周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら仮締付けしてあったボルトとナットを自動車の前側から順に指定トルクで締付けてください。

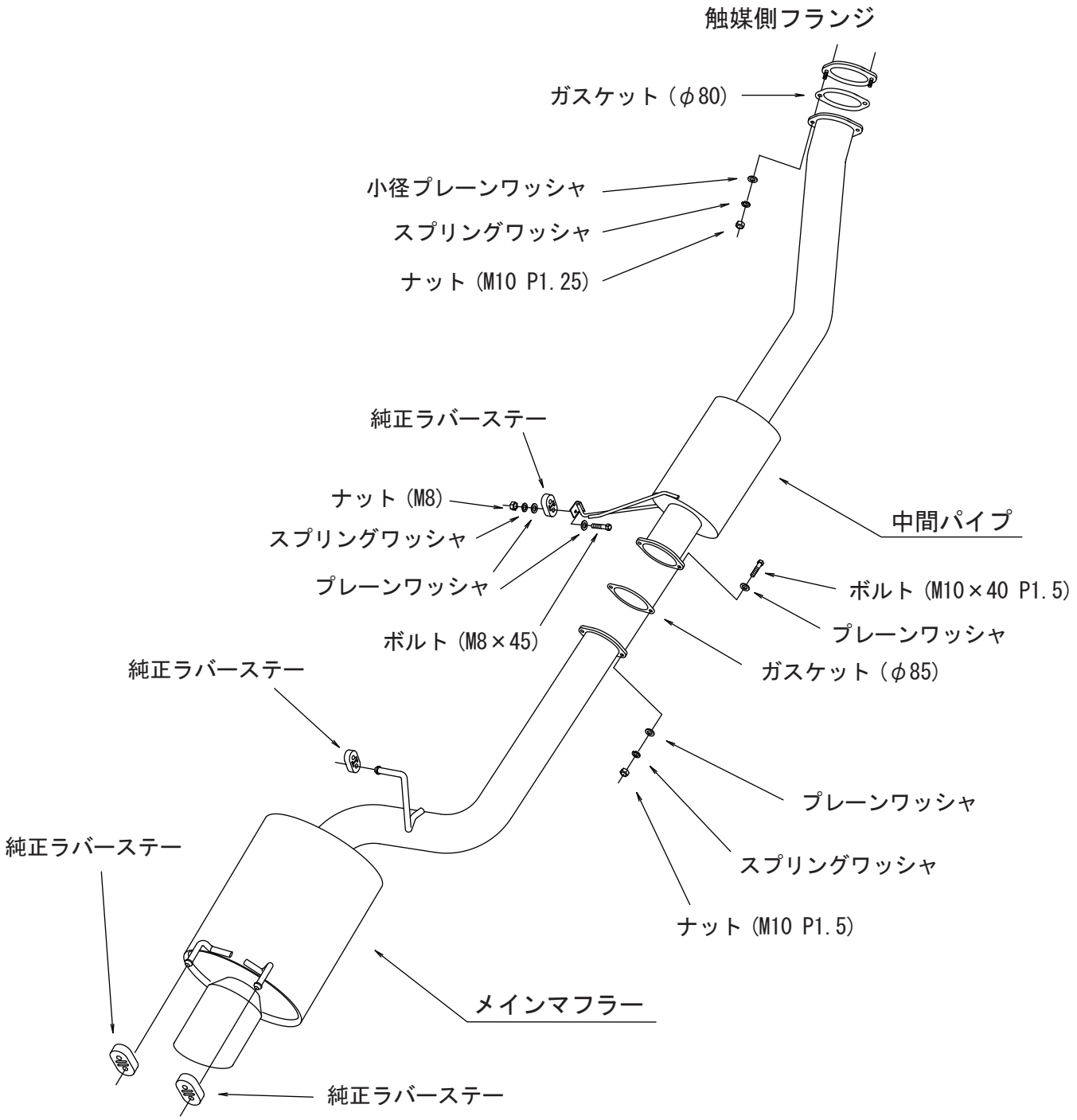
締付けトルク	M10	T= 29 ～ 34 N·m (T= 3.0 ～ 3.5 kgf·m)
	M8	T= 19 ～ 24 N·m (T= 2.0 ～ 2.5 kgf·m)
	M6	T= 7 ～ 11 N·m (T= 0.8 ～ 1.2 kgf·m)

(2) テールパイプとバンパの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合があった場合、最初から締めなおしてください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパの場合熱で溶けることがあります。

4.『サーモシールの貼り付け』
(1) マフラーとバンパーとのクリアランスが狭い場合(12mm未満)、付属のサーモシールを貼り付け、バンパーへの遮熱処理を行ってください。
遮熱処理を行わない場合、マフラーの熱でバンパーが溶けるおそれがあります

5.『装着状態の確認』
(1) 全体の本組付け完了後、再度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。
(2) エンジンを始動して暖機し、約2,500回転にして各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。
(3) 試運転して再度、各フランジからの排気もれ、各部の異常音を点検してください。
(4) (1) ～ (3) の項目に異常があった場合、最初から装着をやりなおしてください。

BNR32 Super Turbo Muffler Ti 組付図



以上で弊社マフラーの装着が完了しました。
再度、本取扱説明書をご一読いただき、安全で快適なドライブをお楽しみください。

株式会社　エッチ・ケー・エス
〒418-0192　静岡県富士宮市北山7181
https://www.hks-power.co.jp/

（禁無断複写、転載）・㈱エッチ・ケー・エス